



令和8年度沖縄県 警察職員（情報処理技術者） 採用選考試験案内

令和8年7月13日
沖縄県警察本部

○受付期間 令和8年7月13日（月）～令和8年8月14日（金）

※郵送の場合は令和8年8月14日（金）必着

○第一次試験日 令和8年11月16日（月）

○採用予定日 令和9年4月1日（木）

【問い合わせ先・受験申込先】〒900-0021 那覇市泉崎1-2-2

沖縄県警察本部警務部警務課人事第二係

代表電話 (098) 862-0110（内線）2664

1 試験区分、採用予定人員及び職務内容

試験区分	採用時 階級	採用 予定数	職務内容
警察職員 （情報処理技術者）	係長 主任 主事	若干名	警察本部等において、警察職員（技術職員）として、専門的知識・経験を活かし、主に警察情報システムの開発・運用管理、情報セキュリティの維持管理等の警察業務に従事する。

2 受験資格

次の(1)から(3)の全ての要件を満たす者

- (1) 日本の国籍を有し、地方公務員法第16条に定める欠格条項(※)に該当しない者
- (2) 昭和39年4月2日以降に生まれた者
- (3) 各階級の要件

【主事】下記情報処理技術者一覧のうち、一つ以上の資格を取得している者

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| ○ 基本情報技術者 | ○ ITパスポート |
| ○ 情報セキュリティマネジメント | ○ 応用情報技術者 |
| ○ ITストラテジスト | ○ システムアーキテクト |
| ○ プロジェクトマネージャ | ○ ネットワークスペシャリスト |
| ○ データベーススペシャリスト | ○ エンベデッドシステムスペシャリスト |
| ○ ITサービスマネージャ | ○ システム監査技術者 |
| ○ 情報処理安全確保支援士(旧情報セキュリティスペシャリスト) | |

【主任】

- ・学校教育法による大学（短期大学（短大）を除く。）を卒業した者及び令和 9 年 3 月までに同大学を卒業する見込みの者又は沖縄県がそれと同等の資格があると認める者で、かつ、民間等における有用な職歴が 8 年以上の者
- ・高卒（短大、高専卒）程度の学歴を有する者で、かつ、民間等における有用な職歴が 12 年以上（短大、高専卒は 10 年以上）の者
- ・上記学歴及び職歴を持つ者かつ下記情報処理技術者試験一覧のうち一つ以上の資格を取得している者

- | | |
|---|---|
| ☐ 応用情報技術者 | ☐ I T ストラテジスト |
| ☐ システムアーキテクト | ☐ プロジェクトマネージャ |
| ☐ ネットワークスペシャリスト | ☐ データベーススペシャリスト |
| ☐ エンベデッドシステムスペシャリスト | ☐ I T サービスマネージャ |
| ☐ システム監査技術者 | ☐ 情報処理安全確保支援士
(旧情報セキュリティスペシャリスト) |

【係長】

- ・学校教育法による大学（短期大学（短大）を除く。）を卒業した者及び令和 9 年 3 月までに同大学を卒業する見込みの者又は沖縄県がそれと同等の資格があると認める者で、かつ、民間等における有用な職歴が 12 年以上の者
- ・高卒（短大、高専卒）程度の学歴を有する者で、かつ、民間等における有用な職歴が 16 年以上（短大、高専卒は 14 年以上）の者
- ・上記学歴及び職歴を持つ者かつ下記情報処理技術者試験一覧のうち一つ以上の資格を取得している者

- | | |
|---|---|
| ☐ 応用情報技術者 | ☐ I T ストラテジスト |
| ☐ システムアーキテクト | ☐ プロジェクトマネージャ |
| ☐ ネットワークスペシャリスト | ☐ データベーススペシャリスト |
| ☐ エンベデッドシステムスペシャリスト | ☐ I T サービスマネージャ |
| ☐ システム監査技術者 | ☐ 情報処理安全確保支援士
(旧情報セキュリティスペシャリスト) |

※ 地方公務員法第 16 条に定める欠格条項

- ・拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ・沖縄県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者
- ・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 試験の月日及び場所

試験日時	試験会場
令和 8 年 11 月 16 日（月） 午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分	沖縄県警察本部 (那覇市泉崎一丁目 2 番 2 号)

4 選考の方法

試験の種目 (配点)		方法・内容
試験 の 種 目	専門試験 (100)	情報処理に関する専門知識について、情報処理技術者試験レベル 2 ～ 4 程度の問題を出題します。 〔出題数50問、試験時間 2 時間〕
	論文試験 (40)	思考力、総合判断力、文章構成力、表現力についての筆記試験を行います。 〔1000字以内、試験時間 2 時間〕
	口述試験 (120)	主として人物についての個別面接による試験を行います。 〔1 人あたり25分程度〕
	適性検査	職務遂行に必要な適性についての検査を行います。

5 受験手続

(1) 受験申込書の入手方法

ダウンロード で入手	沖縄県警察ホームページ(https://www.police.pref.okinawa.jp/) から受験申込書の様式をダウンロードすることができます。同ホームページの採用案内を選択してください。 なお、ダウンロード（印刷）がうまくできない場合は、直接受け取る方法により受験申込書を入手してください。
直接入手	沖縄県警察本部警務部警務課人事第二係において、お受け取りください。

(2) 申込方法及び受付期間

申 込 先	〒900-0021 那覇市泉崎1-2-2 沖縄県警察本部警務部警務課人事第二係
申込方法	受験申込書（必要事項記入、写真貼付）に、 ・ 職務経歴書 （情報システム関連業務のもの） ・ 卒業証書の写し又は卒業証明書（写し可） （卒業見込みの者は卒業見込証明書） ・ 情報処理技術者試験等の合格証書の写し ※第一次試験時に合格証書等の原本をお持ちください。 を添付し、上記申込先に郵送又は直接提出してください。 郵送で申し込む場合は、封筒の表に「沖縄県警察職員（情報処理技術者）受験」と朱書きし、簡易書留郵便で郵送してください。

受付期間	令和8年7月13日（月）から8月14日（金）まで 午前8時30分から午後5時15分まで（土日・祝日を除く。） 郵送の場合は、8月14日（金）必着のものに限り受け付けます。
------	---

6 合格発表

	期 日	方 法
最終合格発表	令和8年12月下旬	沖縄県警察ホームページに掲載するほか、受験者に対して書面で通知します。

7 採用予定日

令和9年4月1日（木）

8 勤務条件等

(1) 給与

ア 沖縄県職員の給与に関する条例により、公安職給料表に基づき、経歴その他に応じて初任給が決定されます。

その他、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等が支給条件に応じて支給されます。

イ 昇給は、原則として毎年1回行われます。また、勤務成績、研修成績が優秀な場合の特別昇給制度があります。

(2) 休暇

年間20日の年次休暇（繰り越した場合最大40日）のほか、慶弔休暇、夏季休暇（5日間）旧盆休暇など各種特別休暇制度が導入されています。

また、育児休業も取得できます。

9 合格から採用まで

- (1) 最終合格者は、警察職員採用候補者名簿に成績順に搭載され、その中から沖縄県警察本部長が採用を決定します。
- (2) 最終合格者の数は、採用を辞退する者等の数を考慮して決定しますので、合格しても採用されないこともあります。
- (3) 採用時の階級は、これまでの民間等における有用な経験年数により決定されます。
- (4) 採用候補者名簿の有効期間は、名簿確定の日から原則1年です。
- (5) この試験の最終合格者は、採用後に一定期間の研修を受けることとなります。

10 選考試験に関する注意事項

- (1) 第1次試験当日は、筆記用具（鉛筆、消しゴム、ボールペン）及び資格証書等の原本を準備の上、第1次試験は午前8時30分までに、1階エントランスホールに集合してください。※詳細は受験申込者に通知文を送付します
- (2) 警察本部の駐車場は利用できませんので公共の交通機関等をご利用下さい。

試験会場案内図



受験申込書の記入要領

- 氏名・生年月日・現住所・連絡先欄
わかりやすく、丁寧に記入してください。
住所欄は、現在居住しているところを記入してください。寮、アパート、下宿、間借り等の場合は、建物の名称、同居先を明確に記入してください。
試験の実施通知及び合格通知は、すべて受験申込書の連絡先に行いますので、連絡先は最も確実なところを記入してください。（住所と同一の場合は、「同上」と記入する。）
- 学歴欄
最終学歴から順番に記載し、高校又は中学までの学歴を記入してください。
専修学校は記入しないでください。
- 職歴欄
今までの勤務上の経験（自営業を含む。）を新しいものから順番に記入してください。
現在勤務中の場合は、退職理由欄に斜線を引いてください。
- 日付
記入日の日付を記入してください。
- 署名欄
必ず申込者本人が自署してください。